

○水生生物モニタリング調査結果一覧（猪苗代湖（北岸） I ・猪苗代湖（南岸） J ）

＜猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J　水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質（Cs）	水質（Sr）	底質（Cs）	底質（Sr）
J－1	○	○	○	○	○	○

＜猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J　現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透明度(m)
J－1（表層）	37.4203°	140.1008°	R6.12.5	13:43	14:30	9.9	8.6	砂泥	7.5Y6/2	シジミ	3.8	>3.8
J－1（下層）												

＜猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J　一般分析項目・放射性物質分析項目　水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
J－1（表層）	37.4203°	140.1008°	R6.12.5	13:43	6.9	<0.5	1.8	11.1	11.8	0.06	0.8	<1	0.5	N.D. (0.0014)	0.0042	－
J－1（下層）					7.0	<0.5	1.8	10.9	11.8	0.06	0.7	<1	0.5	N.D. (0.0016)	0.0038	0.0012

注）N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J　一般分析項目・放射性物質分析項目　底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
J－1	37.4203°	140.1008°	R6.12.5	14:30	6.3	488	21.7	1.0	1.8	2.790	4.0	9.5	47.9	28.5	6.5	3.6	0.30	4.8	0.31	23	N.D. (0.20)

注）N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜猪苗代湖(北岸)I・猪苗代湖(南岸)J　分析項目　水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
I-1 I-2 (北岸)	湖内 および 長瀬川	37.5047° 37.4995°	140.1143° 140.1409°	R6.12.1	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	3	2.4	成魚	不明消化物	内臓除去	11	N.D. (1.3)	11	0.39
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	3	3.3	成魚	空胃	内臓除去	18	N.D. (1.1)	18	0.085
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス <sup>*</sup>	ナマス <sup>*</sup>	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	3	1.1	成魚	空胃	内臓除去	6.0	N.D. (1.2)	6.0	－
				R6.12.4	粗粒状有機物	－	－	－	－	水底落葉等	－	0.25	－	－	－	1.8	N.D. (0.27)	1.8	－
J-1 (南岸)	湖内 および 鬼沼周辺	37.4203°	140.1008°	R6.12.5	藻類・植物	－	－	－	－	プランクトン（浮遊藻類）	－	0.013	－	－	－	N.D.	N.D. (2.6)	N.D. (2.3)	－
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ト <sup>*</sup> シ <sup>*</sup> ヨウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	ドジョウ	15	0.074	未成魚/成魚	－	－	4.4	N.D. (1.1)	4.4	－

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、　内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、　除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。